



第1号
 令和元年新年号
 清水区庵原1937
 住職 丹羽崇元
 TEL (054) 366-0182
 FAX (054) 366-0475
 振替 00840-5-19152

「昔の本堂」の様子をご覧になりたい方は、
 一乗寺「公式ホームページ」の動画をご覧ください。

庵原山 一乗寺



※こちらのページは、今後檀信徒の皆さまからの「広告」を無料掲載して参りたく存じます。「店舗情報」や「収穫物のお知らせ」「大切な方へのメッセージ」など、告知したいことがありましたら、お寺までご一報ください。

来る令和2年11月15日(日)、一乗寺にて晋山式(しんさんしき)が執り行われます。晋山式とは、そのお寺に新しい住職が就任し、皆さまのより豊かな人生と地域の安寧を祈り、内外に正式なお披露目をする法要です。

この晴れの日をお祝いする「お稚児さん行列」という儀式があります。神仏にお仕えする童子・童女を「稚児(ちご)」と呼び、今回この行列(パレード)に参加されるお子さまを募集いたします。古来より、この行事に参加されると無病息災・諸難消除の厄除けができ、健やかでしあわせな将来が開けてくるようになるといわれております。

この度の儀式は、数十年に一度あるかないかの仏縁でございます。少子化の昨今、お一人でも多くの子どもたちにご参加していただき、地域の皆さまとともに多幸を祈願いたしたく、ここにご案内させていただきます。

一乗寺住職 丹羽崇元 合掌

- 日時 令和2年11月15日(日) 午前8時～9時30分
(※詳細につきましては、来春頃あらためてご案内申し上げます。)
- 募集年齢 4才から12才位の男女 (檀家さんに限らず広く募集しております。保護者の方ご同伴をお願いいたします。)
- 参加費用 6,000円 (稚児衣装のレンタル料・記念品・記念写真)
- 申し込み 一乗寺 [8月末(月)まで]をお願いいたします]

かわいいお稚児さん募集

庵原山 一乗寺 〒424-0114 静岡県清水区庵原町1937 TEL. 054-366-0182

来る令和2年11月15日(日)、一乗寺にて晋山式(しんさんしき)が執り行われます。晋山式とは、そのお寺に新しい住職が就任し、皆さまのより豊かな人生と地域の安寧を祈り、内外に正式なお披露目をする法要です。

この晴れの日をお祝いする「お稚児さん行列」という儀式があります。神仏にお仕えする童子・童女を「稚児(ちご)」と呼び、今回この行列(パレード)に参加されるお子さまを募集いたします。古来より、この行事に参加されると無病息災・諸難消除の厄除けができ、健やかでしあわせな将来が開けてくるようになるといわれております。

この度の儀式は、数十年に一度あるかないかの仏縁でございます。少子化の昨今、お一人でも多くの子どもたちにご参加していただき、地域の皆さまとともに多幸を祈願いたしたく、ここにご案内させていただきます。

一乗寺住職 丹羽崇元 合掌

●日時 令和2年11月15日(日) 午前8時～9時30分
(※詳細につきましては、来春頃あらためてご案内申し上げます。)

●募集年齢 4才から12才位の男女 (檀家さんに限らず広く募集しております。保護者の方ご同伴をお願いいたします。)

●参加費用 6,000円 (稚児衣装のレンタル料・記念品・記念写真)

●申し込み 一乗寺 [8月末(月)まで]をお願いいたします]

写真は令和元年10月・静岡市清水区若島の高麗院で行われたお稚児さん行列のものです

【年末年始のご案内】

令和元年 大晦日「除夜の鐘」

十二月三十一日(火) 午後十一時四十五分

◎令和時代最初の「除夜の鐘」となります。
 来る年の幸せを願い、鐘の音をつなぎましょう。

※当日は、「甘酒」や「おしるこ」等の振る舞いもございまして、どなたさまもお誘い合わせの上、ご来山賜りますようお願い申し上げます。

※防寒対策をお忘れなく！
 ※一〇八回を過ぎても、ご参詣された皆さま全て鐘を打つことが出来ます。

新春「大般若祈禱祭」

令和二年 一月七日(火)

① 十一時～「転読大般若(法要)」
 ② 十一時四十五分～「宇宙雅楽」奉納演奏
 ③ 十二時三十分頃～「小宴」

参加費 お一人さま 三千元(祈禱料含む)

◎別紙にて御案内の通り、新本堂のお披露目を兼ね、新年の無病息災を祈る祈禱祭を行います。後席もございまして、是非ご参詣ください。

◎服装は、ご自由で結構です。

おかえりの森 SITE OPEN!

okaeriforest.com

介護は「ひとりぼっちじゃない」と伝えたい！

レシビや映画などお楽しみ情報も！

介護に関する情報を発信中！

毎週土曜日更新中！
 携帯のカメラでLet'sアクセス！

介護をがんばる家族の心をつなぐ情報サイト

おかえりの森 okaeri forest

おかえりの森 検索

◀ この度、「おかえりの森」という介護支援サイトが生まれました。孤独になりがちな介護生活をいかにも明るく楽しく送れるか、悩みを共有し解決の糸口をつかむヒントが数多く紹介されています。

当寺もwebサイトの立ち上げから参画しており、サイト内の「ぐち聞き地蔵さん」というコンテンツでは、愚痴を聞くお地蔵さんとして住職の言葉も掲載しております。ぜひ検索してみてください。

ちょっと聞いてよ! 【静岡県のお寺編】

ぐち聞き地蔵さん

お寺の掲示板から言葉を届けるよ!

ごあいさつ

一乗寺住職 丹羽宗元

皆さま、はじめまして。一乗寺住職の丹羽宗元（にわそうげん）と申します。改歳に際しまして、謹んでご挨拶を申し上げます。すでに、法事や書面等にてご案内の通り、約三年ほど前から、およそ三〇年に渡り住職を務めて参りました先代の父より代替わりをいたしましたして、誠に及ばずながら住職の任を仰せつかっております。

お寺の長子として生を受け、いつかはこのような日が来ると思っておりましたが、市内羽鳥の洞慶院先住 丹羽鐵山方丈の逝去に端を発し、父である義裕方丈が羽鳥へ私が庵原へ着任する次第となりました。思い返せばこの三年間、父そして祖父であり師匠の残した足跡を探す日々でした。「父ならどうしただろう」「祖父ならこう言うはずだ」と、心中の両師の声に耳を傾け自問自答しながら法務をして参りました。

今から約一〇年前。永平寺の本山修行から帰り、洞慶院にて約五年間祖父母と喜怒哀楽の生活を送りましたことは、自分にとって生涯の財産となりました。僧侶として未だ未熟な私に叱咤激励の言葉をかけ、数多くのお話やあるべき心構えを教えてくださいました。

あると思います。お釈迦さまは「あなたのお気持ち、痛いほどわかります」と静かに寄り添いました。その上でそこから一歩踏み出すことのできるお言葉を数多く残されました。迷った時には、心の中の故人様の声に耳を傾けてください。問いかければ必ず答えは返ってくると思います。そうして、皆さまが健やかに生きるのを、亡くなった方もきつと願っているはずですよ。



今年の十一月には、名実ともに一乗寺の住職となる「晋山式」が執り行われます。今までは、亡き祖父の影を追い先師方に劣る自分の至らなさに恥じ入ることばかりでしたが、これからは受け継がれてきた法灯と有縁の皆さまの声を頼りに自分自身の道を歩んで参りたく存じます。

折りしも私がねずみ年生まれで、守り本尊が千手観音様ということもあり、本年から当寺報もカラー印刷にし、千の声を聴き、多岐にわたって手が行き届くようにという思いで創刊しました。

皆さまからのご意見を伺い、より善い寺院運営・供養の在り方を考えて参りますので、引き続きご法愛のほどよろしくお願い申し上げます。

（住職 合掌）

約二五〇〇年前、今のインドで「仏教」を開いたお釈迦さま。人生の苦しみや悲しみに、「どう向き合えばよいか」「どう乗り越えたらよいか」悩み仏教を伝えました。そのお釈迦さま最期の教えに、『自灯明・法灯明（じとうみょう・ほうとうみょう）』という言葉があります。意識すれば、「自己を抛り処とし、法を抛り処とせよ」という意味になります。これは、釈尊の死が間近であったとき、「師が亡くなったら、何に頼ればよいか」と嘆く弟子のアーナンダに対して諭された言葉です。長年、お釈迦さまに寄り添い仕えた弟子のアーナンダにとって釈尊は教えを導く師であり、心から頼りとする偉大なる存在でした。その師が亡くなってしまったならば「そのあと自分は、誰から教えを受け、どうやって生きていったらよいか」と途方に暮れてしまうのも無理はありません。

この問いに対してお釈迦さまは、私や他者を頼るのではなく「まず自分自身を大切な抛り処としなさい」そして、「法を頼りにしなさい」と答えました。ここで言う法とは、法律のことではなく「仏法」すなわち「人間としての正しい行い」や「自然の摂理」のことを表します。自分の人生で、自らを支えることができるのは、他の誰でもなく「自分自身」だということです。

大切な人を失ったときに、人は悲嘆しあるいは途方に暮れてしまいます。人生の中で最もつらい出来事は、死別で坐禅会・役員の方々と肇氏より、新任職就任と本堂の落成をお祝いする漢詩を頂戴いたしました。

寄稿

— 想いを言葉に —

祝一乗寺本殿落成
本殿落成放瑞光
瓦光棟影耀朝陽
一乗禅寺千年道
和尚崇元護仏堂

ほんでんらくせい
がこうとうえい
いちじょうぜんじ
そうげんおしや
ぶつじやう
ほんでんらくせい
ずいこう
ちやうやう
ぶつじやう

※読者の皆さまへ。寄稿文・俳句・写真・絵画等、一乗寺にまつわる作品を大募集いたします。いつでも、お寺にお持ちください。

2019年のできごと

「丹羽廉芳禅師
27回忌法要」
永平寺参拝の旅
(9月26～27日)



「わが家と地域の防災対策」
市政出前講座 (9月17日)



「防災かまどベンチ」
設置
(庵原小ウラ庚申堂)

「イハラ建成工業株」
のご厚意による施工
です。



「一乗寺第2駐車場」整地